

子供達の学びを豊かに

～外部講師の方のご指導に感謝～



6月21日に緊急事態宣言が解除されてから、学校では、新型コロナウイルス感染症の感染予防をしながら、積極的に外部の方と連携をとり学びを深めています。

コロナ禍の中にあいながらも、これまで多くの外部講師の方にご協力をいただき、学習を進めることができました。

5年生の田植え体験では、オガワエコノスの皆様や地域の方、3年生の書写指導には児玉先生、1、2年生の音楽指導には須賀先生。6年生の遺跡発掘見学に係る出前授業には、教育政策課文化財室の道田様や磯久様、5年生の総合的な学習の時間には、島根あさひ訓練センターから角谷様が来てくださいました。

7月には、5・6年生の調べる学習の事前学習に、府中市立図書館の田中館長様、皿海様。3年生の総合的な学習の時間には、本家中村屋の中村様も来て下さる予定です。

実際に体験することや、その領域における専門家あるいはプロの方にご指導いただくことで、子供達の学びが豊かになります。今後も、学校だけでは得られない学び



に多く触れさせるために、教育課程を工夫し、いろいろな方にご協力いただきながら、これからも南小教育を進めてまいります。



第21回 南小俳句大会



第21回南小俳句大会(俳句大会in南)

俳句大賞	(6年) 朝顔やピンク咲いてと願った日
優秀賞	森川蘭太郎 (5年) ラベンダーぼくよりめだつなでしゃばるな
優秀賞	古川 奈菜 (4年) 母くるま父とないしょのカーネーション
優秀賞	古川 由莉 (4年) 母の日と気づいた時にはもう夜だ
佳作	野原 湊 (3年) 母の日に百きんの花でいいのかな
佳作	(2年) そらまめがみどりでかわいいぱくりんぱ



調べる学習スタンプラリー



6月21日、学校図書館を使った調べる学習スタンプラリーを行いました。

「府中市子どもの読書活動推進計画(第二次)」には、「調べる学習を進めていく過程で、子どもたちが自ら課題を発見し解決する力を身に付けていく」ということが示されています。調べる学習スタンプラリーは、学校図書館を使った調べる学習を通して、調べる学習に興味を持たせ、調べる方法を理解させていくこと、また、児童が課題を発見したときに、解決する1つの手段として本から調べることができるようにすることをねらいとし実施しました。

当日は、1年生から4年生までが、学年ごとに出された問題、例えば「せかいの言葉について調べます。中国語でお母さんを何と言うでしょう。また、何分類の本で調べますか。(2年)」「2021年に東京で第32回夏季オリンピックが開催されることになりました。さて、第1回オリンピックは、いつどこで行われたでしょう。ポプラディアで調べましょう。(4年)」などの問題を、図書室にある本を調べ解いていきました。



いろいろな機会において「本」に親しむことは、今後の人生を豊かにしていくことにもつながります。ご家庭でも、親子で本に親しむ時間を設けるなどしてみてはいかがでしょうか。



クラブ活動を紹介します



6月14日、第2回目のクラブ活動を行いました。今回は、ハンドメイドクラブの活動を紹介します。

ハンドメイドクラブでは、保護者の方からいただいた布を使って、マスクづくりにチャレンジしました。

まず、適当な大きさに切った布にアイロンをかけ、下準備をします。次に、まち針で布を固定し、必要なところを手縫いしていきます。最後に、耳にかけるゴムひもを通して完成です。

手順は簡単そうですが、針と糸を使うのが初めてという学年の児童もいて、悪戦苦闘していました。完成したマスクを早速学校で使うなど、出来上がりに満足する子供達もいたようです。家でも、興味をもっていろいろなものを作ってみるのもいいかもしれませんね。

